れんげそう

令和８年１０月３０日
福生第五小学校
学校通信第５９２号

自分たちにできることから始めよう ～ふれあい月間・いじめ防止行動目標～

生活指導主任　　加藤　拓

11月は、東京都の「ふれあい月間」です。この期間は、普段の言葉遣いや自分の行動を少し立ち止まって振り返り、お互いの気持ちを思いやりながらよりよい関係をつくっていく大切な時期です。学校でもアンケートなどを通して子どもたち一人一人の声や表情にしっかり耳を傾け、小さな悩みや変化にも優しく寄り添ってまいります。

これに関連して福生市では、「いじめを許さないまち ふっさっ子宣言」をもとに、子どもたち自身が話し合って自分たちにできる「いじめ防止行動目標」を決め、実践する取組を行っています。「一人ひとりのいいところを褒め合おう。」「自分がされて嫌なことはしない。」など、学級ごとに自分たちの言葉で真剣に考えた目標に向かって、子どもたちは一生懸命取り組もうとしています。

自分たちの学校やクラスをより良くしようと前向きに励む子どもたちの姿はとても頼もしく、私たち教職員一同、子どもたちのまっすぐな思いや自発的な姿勢を大切にし、温かく育んでいきたいと考えています。

ご家庭でも「クラスでどんな目標を決めたの？」などと話題にしていただき、目標に向かってがんばる子どもたちを一緒に温かく支えていただければ幸いです。学校とご家庭がしっかりと手を携え、子どもたちが安心して自分らしく笑顔で過ごせる学校を目指してまいります。ご理解とご協力をよろしくお願いします。

生涯の友となる「本」を読む子を一緒に育てるために～読書のすすめ～

学校図書担当　小林　久仁子

本校では、学期ごとに全校で朝読書や読書活動に取り組む「読書旬間」を設けています。読書旬間中には、子どもたちが読書への興味をもち、すすんで読書に取り組めるよう、保護者や地域の方による図書ボランティアのみなさんが「読み聞かせ」に来てくださったり、図書委員会がクイズや読み聞かせをする集会を行ったりしています。

すべての学級には、市立図書館から借りた「学級文庫」があり、子どもたちはタブレット端末で「ふっさ電子図書」の本を読むこともできます。

子どもたちの中には、「もっと難しい本が読みたい。」「〇〇〇っていう本が読みたい。」「英語の本が読みたい。」「何かおすすめの本はありますか。」等、いろいろな希望や質問を伝えてくれる子もいます。相談を受けた図書館司書が、中学校や市立図書館と連携して本を借りて本校の子どもたちに貸したり、本校の子どもたちが読めそうな本を購入したりしています。

インターネットで簡単に答えが見付かる便利な時代だからこそ、自分の手でページをめくり、文字から情報を思い描き、じっくりと考える「読書」の時間が、子どもたちの生きる力を育むために大切になってきます。

ぜひご家庭でも、一緒に読書をする時間を設けて、子どもたちが読書を楽しめる環境をつくっていただけると嬉しいです。

すべての子どもたちに、本との出会いを通して心豊かな人生を歩んでほしい、という願いを込めて、本校では読書活動を推進しています。